平成10年7月15日発行

青年部だより

［第8号］

社団法人岡山ビルメンテナンス協会青年部広報委員会発行
住所 〒700-0985 岡山市厚生町3-1-15 岡山商工会議所ビル2F TEL 086-225-8660

平成十年度 青年部会 第一回全体会議開催

青年部会の平成十年度第一回全体会議が去る四月二十一日まきび会館において、会員二十八名中二十四名の出席で開催された。

青年部発足から二年半、一層充実した活動を反映して全員による活発かつ建設的な論議の結果、平成九年度の事業報告及び決算等を承認するとともに、平成十年度の事業計画・役員改選等について審議し、役員及び各委員会の構成が次のとおり決定した。

青年部組織図

平成10年5月末現在

役員会

- 部会長 矢田 隆章（㈱西日本テムシー）
- 副部会長 小山 龍行（日本ビル管理㈱）
- 幹事 田口太馬男（津山ビル管理㈲）
- 古南 禎三（㈶厚生会）
- 新木 昇（㈱アラキ）
- 羽原 繁治（㈶岡山県愛染会）
- 下津 弓子（㈲瀬戸内ビルサービス）
- 監査 小川 昌作（大永事業㈱）
- 顧問 橋本 明始（日本ビル管理㈱）

広報委員会

- 委員長 ㈶厚生会
- 副委員長 合同産業㈱
- 委員 ㈱サビックス・㈱研美社・日本ビル管理㈱・三要電熱工業㈱・美作内外美装㈱・㈲アローサービス・アサヒ化工㈱・㈱不二ビルサービス・㈱第一美装・㈱西日本テムシー・中国整備㈱

研修委員会

- 委員長 ㈱アラキ
- 副委員長 ㈱明和ビルサービス
- 委員 西日本建物管理㈱・津山ビル管理㈲・星光ビル管理㈱・㈲ビルメンテナンス・㈲瀬戸内ビルサービス

企画運営委員会

- 委員長 ㈶岡山県愛染会
- 副委員長 サンヨー美装㈱
- 委員 大永事業㈱・岡山美建㈱・㈱山陽セフティ・倉敷警備保障㈱・㈱日建

岡山県立岡山高等技術専門校派遣講師

平成10年・4月度青年部役員会において、10年度・前期ビル管理科の実習講師を青年部会会員企業より下記の通り派遣することに決定した。

月日	内容	講師	会社名
5/11	清掃 フロア床材について、洗剤及び床維持剤について（7時間）	矢田	㈱西日本テムシー
5/21	清掃実習 ポリッシャーの使用方法（7時間）	宮下	㈱明和ビルサービス
5/26	清掃実習 ポリッシャーの使用方法（7時間）	宮下	㈱明和ビルサービス
6/3	清掃実習 プラスチック系床材の表面洗浄作業（7時間）	峰山	岡山美建㈱
6/17	清掃実習 プラスチック系床材の表面洗浄作業及び窓清掃（7時間）	藤井	大永事業㈱
7/3	清掃実習 プラスチック系床材の剥離洗浄作業（7時間）	井上	㈱サビックス
7/23	清掃実習 カーペットクリーニングについて 8:50～12:15（4時間）	麻田	倉敷警備保障㈱
7/27	清掃実習 ドライクリーニングの概念と作業法（7時間）	合地	西日本建物管理㈱
8/4	清掃 ビルクリーニング技能士の概要と実際 13:15～15:50（3時間）	小山	日本ビル管理㈱
8/11	清掃実習 ビルクリーニング技能士作業 8:50～12:15（4時間）	麻田	倉敷警備保障㈱

お知らせ

第7回中国・四国地区ビルメンテナンス協会合同連絡会議

開催日 平成10年10月22日（木）
場 所 岡山市岡山国際ホテル

第5回ビルクリーニング技能競技中国大会

開催日 平成10年11月11日（水）、12日（木）
場 所 米子市米子コンベンションセンター

各委員会の活性化に期待する！

部会長 矢田 隆章

平成十年度の青年部会全体会議において、各委員会の構成メンバーの再編がなされました。

企画・研修・広報の各委員会活動をより活発にし、部会員相互の意志が全体に繁栄できる委員会にして頂く事が大切であり、今回の青年部だよりに、各委員長の抱負をお願いしました。

新しい委員会に所属された部員の皆様にも、委員長の方針と、青年部会全体の活性化のためにも業務多忙とは思いますがよろしくご協力賜りますようお願いします。

企画運営委員長 羽原 繁治

平素は、お世話になります。このたび、企画運営委員会の委員長に就任させていただきました愛染会の羽原と申します。何分にもこのような立場が不慣れな者ですので、皆様方に多大の御迷惑をお掛けする事と思います。なにとぞ御理解の上御指導を賜ります様お願い申し上げます。

さて、青年部だより八号に各委員長の抱負等を掲載するという事で、筆無精の私ですが私なりに現在の青年部会の現状と将来に向けての希望を述べさせていただきます。

現在青年部会の組織図は、企業のトップの方、二世の方、営業職の方、業務職の方、ちなみに私は業務を担当しております。ですから、四者四様の考えの方がおられるわけで、それを一つの目標にまとめ上げていく事は大変な作業だと思います。自分のレベル以上の発案を出さねばならないという問題点があるのではないでしょうか。

今後、青年部会の活性化並びに青年部会員の増加という課題を克服するには、垣根を越えてなんでも発言発案できる雰囲気作りと物事に対する柔軟な対応が出来る頭を自分自身養っていきたいと思いますので、よろしく御協力御鞭撻のほどお願い申し上げます。

研修委員長 新木 昇

今期委員長をおおせつかり不安と責任を感じております。

不況の長期化により、比較的影響をうけない、ビルメン業界に波が日々おしよせており、このままでは将来非常に不安です（閉店、廃業、コスト削減等々）。

『さあ、どうするのか』

一人で考え、行動するには、多大な頭脳と時間と体力が必要です。ここで、多数の人と手をつないで、この問題にとりくむ事が大切です。

一つには、技術の向上
二つには、サービス心の向上
三つには、使命感の向上

技術の向上は日々業務を通じビルメン研修を通じ行われている。あとの二つは、なかなか研修されていないように思われます。従業員の一言、一動作のまずさから、大きな問題が生じた経験があります。

苦難は幸福の門、ピンチはチャンス。

言葉通り、明るい明日に向かって、皆様と一緒に一心不乱の気持ちで、委員会活動をしたいと思います。

大変多忙とは存じますが、ご支援、ご協力の程、一年間、よろしくおねがいします。

広報委員長 古南 禎三

前年度の副委員長が本年度の委員長に就任という慣例？により、委員長を仰せつかりました。

広報委員会の役割である青年部だよりが、平成八年三月に第一号が発行されて以来、今回で第八号となります。私は第一号発行の時から広報委員会に所属しています。

歴代委員長のもと、事務局長さんのご支援をいただきながら委員各位の役割分担による協力体勢での紙面づくりは、今回、編集方針、取材、記事の調整、原稿や写真の配置、枠組み、校正等々本業の時間を削いて、発行まで二日から三日を委員会に費やしています。

このような実績をふまえ、本年度は、部会長のご配慮により、総会において部会員皆様のご承認を得て広報委員が増員されました。

より充実した紙面づくりをしなければとプレッシャーを感じている昨今です。

皆様のご協力をいただきながら、今後青年部だよりが、内容も充実し、予定どおりスムーズに発行できますことを念願いたしております。

青年部だよりに、会員各位の建設的なご意見、ご要望、ご批判も含めて広報委員会にお寄せくださるようお願いいたします。